

## 改正省令セミナー「業界新秩序の構築へ」 | プロパン新聞・タスクフォース21

### 開催趣旨

改正省令が完全施行されましたが、販売の現場ではいまだにその解釈や対応にばらつきが見られます。また、法令順守に対する姿勢にも、事業者間で温度差があることを示す事例が報告されています。

省令が掲げる「商慣行の是正」が、今後の業界をどのように変えるのか。そのビジョンと、現実との間にあるギャップを明らかにし、議論する必要があります。たとえば、改正がめざす料金の透明化は消費者から歓迎される一方で、事業者にとっては付加価値営業や、多様なエネルギーサービスの展開を妨げる要因になるのではないかと懸念もあります。さらに、仮に料金競争が激化し、大手企業への集約化が進んだ場合、地域のインフラを支えてきた中小事業者の存続が危ぶまれるおそれもあります。

本セミナーでは、改正省令が与える影響を多角的に検証し、制度・運用面での見直しや補足説明が行政に求められる場合には、その具体的な提言についても検討します。現場の声を集約し、消費者と事業者の双方にとって持続可能で健全な業界の方向性を模索する場として、建設的な意見交換を行います。

本セミナーは、タスクフォース 21 第 169 回例会をプロパン新聞(産業報道出版)との共催で特別例会として開催します。

2025年7月25日(金) 14時00分開会(13時30分開場) 17時30分閉会

開場予定 鉄鋼ビルディング(南館)4階 カンファレンス

### スケジュール

14:00 開会にあたり 事務局 矢部元法

14:10 タスクフォース 21 の取り組みと今後の展望 事務局(ノラ・コミュニケーションズ) 中川順一

14:40 自由化を超えて 2025 年 行動こそ今を変える原動力 コネクトエネルギー 境野春彦氏

15:10 休憩

15:20 改正省令の解釈論 松山・野尻法律事務所 松山正一氏

15:50 全国事業者の改正省令対応事情 東洋計器 中田英穂氏

16:20 休憩

16:30 改正省令対応への考え方と今後のあり方 エネルギー事業コンサルタント 角田憲司氏

17:00 意見交換会(ディスカッション) 上記登壇者

17:30 閉会挨拶 プロパン新聞(産業報道出版) 志村 強

17:30 名刺交換会・懇談



資料のダウンロードはこちらから→



松山正一氏  
(弁護士)



角田憲司氏  
(エネルギー事業コンサルタント)



境野春彦氏  
(コネクストエネルギーCEO)



中田英穂氏  
(東洋計器常務)



中川順一氏  
(タスクフォース21事務局)

## 登壇者プロフィール

### 松山 正一(まつやま・しょういち)

松山・野尻法律事務所所長。1954年生まれ。早稲田大学法学部卒業。第二東京弁護士会所属。弁護士歴は30年以上に及び、企業法務を中心に活動。東証プライム上場のエネルギー企業の顧問を務め、契約、債権回収、法改正対応などの実務に精通する。著書に『LPガス販売店のための法律Q&A(第1～6版)』(諏訪書房)、『この一冊で「刑法」がわかる』(三笠書房)などがあり、現場に役立つ解説書として広く活用されている。

会社法・民法・刑法など基本法の理解を重視しつつ、世間の常識や実務感覚を交えた助言を行う姿勢に定評がある。液石法に精通した弁護士として、業界企業・団体のほか、行政、消費者団体主催のセミナー等にも招聘されている。

### 角田 憲司(つのだ・けんじ)

エネルギー事業コンサルタント・中小企業診断士。愛知県出身。1978年に東京ガスに入社。営業、マーケティング、熱量変更、卸営業など各部門で幅広い実務を経験。2011年に千葉ガス社長に就任し、2016年には日本ガス協会の地方支援担当理事を歴任。2020年より独立し、都市ガス・LPガス業界向けに講演、執筆、コンサルティングを行う。

千葉ガス在任中には、2013年に複数自治体と連携した「地産地消型自治体新電力構想」を提案。地域密着型エネルギー供給の推進にも注力。現在も地域の視点からエネルギーのあり方を問う活動を続けている。都市ガス、LPガス、電力専門誌への執筆のほか、YouTubeビデオブログ『角田憲司のbusinessissue』では、エネルギー・環境問題を広範に取り上げている。

### 境野 春彦(さかいの・はるひこ)

1992年に慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、大手石油会社に入社。液晶フィルム、太陽光、燃料電池など新規事業を多数手がけ、2007年には最年少管理職としてトップ直轄プロジェクトを指揮。2002年からは液晶フィルム事業の立ち上げに参画し、供給危機下で24時間操業体制を主導して乗り切った経験を持つ。

2015年にLPガス元売会社に出向し、電力自由化を見据えた提案活動を展開。LPG販売事業者と直接向き合う中で、人対人の関係性を重視した営業のあり方に共鳴。業界内外に広い信頼関係を築いた。2019年からは新電力会社の低圧部門を統括。2025年、講演と現場支援の経験を基にConnect Energy合同会社を設立。現場感覚と実体験を軸に、業界の持続的成長を支える活動を行っている。

### 中田 英穂(なかた・ひでお)

タスクフォース21幹事。東洋計器株式会社常務取締役(関東・東海地区担当)。専修大学法学部卒業後、1979年に東洋計器に入社。以来、46年間勤務。高松事務所、名古屋支店、静岡営業所、東京支店勤務を経て、営業本部取締役から現職。業界内の広範な人脈と、収集した情報の分析から、LPガス販売事業に関するさまざまな提言を行っている。分計メーターや「LPガス料金メニュー」の普及に貢献。長年、取引先企業はもとより、業界団体の研修・セミナー講師、構造改善事業等のアドバイザーも務める。

また、地域との結びつきも深く、松本ハイランド農業協同組合の組合員としても活動している。

### 中川 順一(なかがわ・じゅんいち)

一般社団法人タスクフォース21事務局担当理事。1983年、廣済堂産報出版入社。「プロパン新聞」「月刊LPガス」などLPガス業界専門誌の編集記者として活動し、元売会社の広報、卸系販社の機関誌、消費者向けPR誌の制作を担当。1992年に独立し、業界関係者とのネットワークを活かし、現在までLPガス業界の販促・広報・広報支援業務を展開。中央大学文学部卒。現在は、株式会社ノラ・コミュニケーションズ代表取締役、産業報道出版株式会社取締役、などを務める。過去、中央大学生涯学習講座講師、駒沢女子大学講師、学校法人中央大学評議員なども務め、業界に精通した執筆・講演・出版活動のほか、自分史・社史出版のセミナー講師やコラムの執筆も行っている。